



はつかさん

第8号
発行
天津地域振興協議会
総務企画部編集委員会
印刷
米子ワークホーム

平成二十二年四月十八日、『清水川公民館』で秋葉神社祭が天萬大安寺住職の導師により行われ、火災が起らないよう祈願しました。

火防の神様として、信仰の御本尊である秋葉三尺坊大権現は観世音菩薩の化身と言われています。縁起によれば、およそ一二〇〇年前、信州(長野県)で生まれた方で実在の僧侶です。

その母は常に、厚い観世音菩薩の信仰によって子を産む事を専心祈念してきました。

ある夜、夢で観世音菩薩が迦樓羅身(かるらしん・観音三十三の化身の一つ)を見せた事で懐胎し、誕生したと言われています。

幼少の頃からすばらしい聡明さと英知を持ち、七歳で出家、成長するに従って学徳にすぐれ高僧となり、さらに世を救う大力量を得るため、越後の長岡蔵王権現十二坊の第一、「三尺坊」に籠り慈悲心と勇猛心とを発し、失火延焼の難を逃す事を第一として十三カ条の誓願を立て、一日に千座の護摩を焚き、三十七日間不動三昧の修法を行い、その満願の暁に、護摩壇上の香煙中、迦樓羅身の感見をする事で飛行自在の力を得、その時、空中より観音経の天音が聞こえ観音の化身である事を自覚し、白狐に乗り天涯に飛行しました。

諸国を飛行して救済するうち、大同四年(八〇九年)に遠州秋葉山に居所を定めました。

秋葉山は行基菩薩の開基であり自作の観世音菩薩を祭られた霊場であるためこの地を慕い、それ以来、修法した坊の名により三尺坊大権現と尊称するようになったと言われています。

江戸期には庶民に火難避けの神として深く根付き、秋葉山三尺坊大権現を勧進する事が各地で流行しましたが、幕府は貞享二年(一六八五年)に禁令を発しました。

しかし、関東地方に秋葉神社の名称をもつ神社が多くあり、秋葉山や秋葉権現と刻まれた石碑が数多くある事から、禁令で信仰を抑えることはできなかったとみられます。

明治に入り、秋葉山は秋葉大権現と言われ秋葉神社と秋葉寺が并存していましたが、神仏分離令により秋葉寺は廃寺となり、秋葉山は秋葉神社だけとなりました。

後年に秋葉寺は再興されていますが、三尺坊大権現の御本体は静岡県袋井市の可睡斎に祀られているため、可睡斎を秋葉総本殿と称しています。



グループ紹介

天津地区内で活動されているグループの紹介をします。

天津クラブ

母塚山山頂公園・駐車場周辺・道路の除草や山頂公園に植えたつつじ類の手入れ、そして法勝寺川堤防の桜の管理をしている団体があります。

ふるさとの豊かな自然環境を守ることと人材の養成を趣旨に昭和六十一年三月に会員十五名で発足したボランティア団体「天津クラブ」です。

現在も会員は十五名で、東西町二名と天津十三名の方々と活動をしております。

ふるさと交流センターの玄関から体育館にかけての植栽の手入れ、文化祭で恒例となったポン米コーナーを担当していただくなど活動の範囲も広がっております。会員の方に尋ねると地域での活動もさることながら、会員相互の親睦を図る懇親会も楽しんでますという言葉が返ってきました。

昨年は、天津小学校跡地に記念碑を健立するために、会員の方が中心に寄付をお願いに回られました。ご覧になった方もあると思います。

ますが、跡地に立派な記念碑が完成しました。

平成8年



平成17年



天津地区子ども育成会とつつじの植樹(山頂公園)

天津芝オケ研究会

「ふりむけば煌めき。明日には輝き」

【芝オケ】という言葉聞いたことがありますか？天津が生んだまことにユニークなものです。

【芝オケ】とは、あらかじめセリフ等を録音編集した「テープ」に合わせて演技をするものです。

そもその発端は、昭和五十七年の秋、谷川の福田神社宵祭りで初演されて世に登場しました。中心となった方は、野口宣友さん。脚本から演出まで幅広く手掛けられています。

そして、平成二年に「天津芝オケ研究会・ふるさと夢づくり一座」が総勢五十二名で発足し、本格的な活動がスタートしました。平成三年から始まった「ふれあい芸能inさいはく」への毎年の出演に始まり、平成十年には桜での交流があった高知県佐川町の文化ホール竣工記念に招待を受けました。他に、夢みなと博覧会での鳥取県民の日、平成の朝日座(米子コンベンションホールで開催)、大山町生涯学習大会、島根県心のふれあい演劇ツアーなど、町外・県外へ多数の公演を重ねてこられました。公演のほか、平成十七年五月

に「ザ・芝オケ展」を祐生出会いの館で行い、今も入館者ベスト上位に入る多くのお客様で賑わいました。興味のある方はいつでも一座の一員として迎えますから、気軽に声をかけてくださいと言っておられますので、ぜひ一度は練習や公演を見て下さい。



平成14年NHK「芝オケのできるまで」取材時記念撮影

～天津地区スポーツ大会の歴史～

天津地区綱引き大会

スポーツ歴史シリーズも今回で最終回となりました。このたびは、天津地区の綱引き大会の歴史をひも解いてみました。この大会の歴史は浅く平成になってからの開催です。ルールは8人が時間無制限で2メートルの綱を引っ張りきるまで勝敗が決まらないというものです。決勝に残る頃にはもうヘトヘトですが、天津一の力自慢を決めるため白熱した試合が繰り広げられます。

年度	回数	開催日	男 子			女 子		
			優 勝	準優勝	第3位	優 勝	準優勝	第3位
H 4	第1回	10月25日	清 水 川	境	上 阿 賀	下 阿 賀	上 阿 賀	清 水 川
H 5	第2回	10月31日	清 水 川	上 阿 賀	下 阿 賀	下 阿 賀	上 阿 賀	谷 川
H 6	第3回	10月9日	上 阿 賀	清 水 川	下 阿 賀	下 阿 賀	上 阿 賀	谷 川
H 7	第4回	10月8日	上 阿 賀	柏 尾	下 阿 賀	下 阿 賀	上 阿 賀	谷 川
H 8	第5回	10月27日	下 阿 賀	谷 川	境	下 阿 賀	四 季	上 阿 賀
H 9	第6回	10月26日	谷 川	上 阿 賀	清 水 川	下 阿 賀	清 水 川	谷 川
H10	第7回	11月1日	谷 川	上 阿 賀	下 阿 賀	下 阿 賀	谷 川	上 阿 賀
H11	第8回	10月24日	谷 川	清 水 川	柏 尾	谷 川	下 阿 賀	清 水 川
H12	第9回	中 止	鳥 取 西 部 地 震 の 発 生 の た め					
H13	第10回	10月14日	四 季	柏 尾	清 水 川	清 水 川	下 阿 賀	四 季
H14	第11回	8月25日	柏 尾	四 季	下 阿 賀	清 水 川	谷 川	下 阿 賀
H15	第12回	8月24日	柏 尾	下 阿 賀	谷 川	谷 川	下 阿 賀	上 阿 賀
H16	第13回	7月25日	柏 尾	フォレスト	谷 川	谷 川	上 阿 賀	清 水 川
H17	第14回	8月28日	下 阿 賀	谷 川	柏 尾	谷 川	柏 尾	フォレスト
H18	第15回	8月27日	柏 尾	清 水 川	谷 川	谷 川	清 水 川	フォレスト
H19	第16回	中 止	振 興 協 議 会 設 立 の た め					
H20	第17回	8月24日	柏 尾	谷 川	四 季	谷 川	柏 尾	四 季
H21	第18回	中 止	新 型 イ ン フ ル エ ン ザ の た め					



平成15年



平成5年



小学生全員集合

これから、シリーズで各集落の子どもたちを紹介していきます。



坂根の子どもたち
小学生の歓送迎会



四月三日(土)坂根ワイワイホールで、今春の小学校に入学した児童と、小学校を卒業した児童の歓送迎会を開催しました。
この歓送迎会は毎年開催しており、集落内の小さい子どもからお年寄りまで集落を挙げて子どもたちと交流します。



今年度は、「ギネスに挑戦」というわけではありませんが、長い巻きずしにチャレンジしました。
子どもたちは、おばあちゃんにいろいろと教えてもらいながら、自宅では体験できないことに歓声を上げていました。
巻きずしが完成したら、今度は昼ごはんです。食べやすい大きさに切ってもらい、みんな楽しんで、おいしくいただきました。
坂根は最近、子どもたちが増えてきて、集落内には賑やかな声が響いています。きちんとあいさつ出来る子どもたちを育てていきたいと思っておりますので、みなさんも子どもたちを見かけたら声をかけてください。

編集後記

母塚山から見下ろすと、水田の中にひときわ目を引く黄金の田んぼがあります。それを確かめに行くと、近年なかなか見かけなくなつた、麦の栽培を農事組合法人福成さんがしておられました。
これからの季節、冷たいものがおいしくなりますが、この麦は麦茶になるのかな?ビールになるのかな?と思いつつ眺めていました。



平成二十二年度の
広報編集委員紹介

広報『はつかさん』は以下のメンバーで編集します。

- 赤井 恭二 (柏尾)
- 亀尾 秀樹 (柏尾)
- 桑名 俊成 (境)
- 大塚 壮 (清水川)

編集委員